



絵画 (油彩)

鈴木 信子さん(68)＝釧路市

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

①

法などのアドバイスをもらいながら作品づくりを続けている。

釧路市生まれ。子どもが通っていた小学校で開かれた保護者の絵画教室で絵を描き始めた。「絵だけでなく焼き物

釧路市生まれ。子どもが通った年の第83回展で初入賞。03年に会友、07年に会員になった。道展では2000年の第75回展に初出品、初入選以来、入

「色のせ方や合わせ方など、もっともっと皆さんに教えていただきたいながら、これはいい絵だねと言われるように、生涯学習という思いで日々努力していきたい。これからは四季折々の釧路湿原や夕

技法を高め日々努力

や皮染め、七宝焼なども行い、楽しかった」と振り返る。講師の都合でこの教室が3年ほどで終わり、その後は扇谷章二さん(1973年度釧新郷土芸術賞受賞)の教室に通い、絵を描き続けている。

選を続けており、14年の第89回展で油彩「夏の想」が佳作賞を受賞した。

焼け、港の風景なども描けたらしいかな」と思っている。(黒田文夫)

釧美展では97年の第80回展で初出品、初入選。2000

最初には人物や風景、静物などを描いていたが、最近は「秋になって花が終わったヒマワリがいとおしくて」と枯れたヒマワリをモチーフに描いている。先輩方の話を聞き、技

公益財団法人釧新教育芸術振興基金の2015年度釧新郷土芸術賞を受賞する2人の横顔を2回にわたって紹介する。